



平成 27 年度公益財団法人櫻谷文庫事業計画（案）

基本的考え方

櫻谷文庫は、大正 2 年（1913 年）建造の木島櫻谷の居宅である和館、洋館、画室の建造物および櫻谷作品、習作、写生帖等、櫻谷収集の書画書籍類などの収蔵品からなる。

建築物 3 棟は、国登録有形文化財（文化財保護法（昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号）57 条による登録）、景観重要建造物（景観法（平成 16 年 6 月 18 日法律第 110 号）に基づき京都市長により指定）に登録、指定されている。また、櫻谷作品、習作、写生帳や画材、手紙類など櫻谷の制作に関わる資料類、さらに櫻谷の収集した中世から近代にかけての伊藤若冲、長沢芦雪、渡辺崋山、池大雅、頼山陽、寂巖、荻生徂徠、貝原益軒を始めとする日本画関係書画、詩文集、書籍、典籍や朱子学国学関係、近代美術関係資料など一万点以上を収蔵している。

建造物、所蔵品の一般公開・展示、収蔵物資料等の調査、整理、データベース化のため、建造物の維持修復、収蔵品等の維持、修復、調査、研究を進める。これらにより、近代建築史、美術・美術史、芸術の振興、学術研究への寄与、京都市を含む地域振興をめざす。

また隣接する学校法人ヴィアトール学園等と連携し、教育活動の推進のため一層の協力、支援をすすめる。

公益目的事業

1) 公益財団法人泉屋博古館との共同での収蔵資料の調査、整理、データベース作成をすすめる。主に 2014 年度までには軸・屏風、色紙短冊扇面、332 冊の写生帖、約 180 の落款印、櫻谷愛玩品のうち雛人形調査は終了したため、本年度は約 220 冊の「スケッチブック」を中心に調査、スキャナーでの画像取込み、整理をすすめ成果の公開、展示に反映させる。経費の発生を抑えるため、調査、整理については臨時アルバイトを雇用せず、泉屋博古館学芸室実方葉子主査、櫻谷文庫業務執行理事門田節の 2 名で実施する。櫻谷捲り、古典書、画材、書簡類等が未着手。但し、2017 年に予定している「木島櫻谷展～動物画を中心に（仮）」に向け一部書簡については本年度着手する。

2) 2017 年秋に泉屋博古館本館（京都鹿ヶ谷）にて予定している「木島櫻谷展～動物画を中心に（仮）」に向け、櫻谷後半生の文展、帝展出品作品を 15 年間にわたり連続して購入した小津与右衛門氏所蔵作品の所在について、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団古石場文化センター（東京・深川）、松坂文化



財センター（三重・松坂市）との連携により調査を実施する。さらに、第4回文展3等賞入賞作「かりくら」の修復助成を公益財団法人住友財団および公益財団法人出光文化福祉財団に申請する。「かりくら」修復概算費用は4,103千円。

3) 登録有形文化財・京都市重要建造物指定の「和館」屋根の修理に関し、京都市都市計画局に京都市市街地景観整備補助金の申請を行う。景観重要建造物「和館」の2017年補修、保全実施のため京都市市街地景観整備補助金申請のための現状調査 工事内容：大屋根、下屋根瓦葺き替え（軽量化）、外壁、雨戸、木部破損部分修理、樋交換

▶経費補修費 14,044千円（一次見積）計算上の補助金予定：5,617千円

4) 櫻谷文庫関連情報の公開、櫻谷作品や登録文化財建築物の一般公開、京都市文化財マネージャー育成講座、泉屋博古館の博物館講習への実技実習協力の事業、立命館大学文学部京都学講義、立命館大学アトリサーチセンター、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築造形学部門演習への協力、併せて京都市 MICE 推進事務局に連携し、映画、テレビドラマ制作に協力する。

5) 地域連携、美術系連携、学術研究教育連携、映像等メディア連携を強化する。等持院等地域の観光スポットとの連携、衣笠地区の堂本印象美術館、高津古文化会館、「平野の家 わざ永々棟」等美術系法人、登録文化財関係法人等及び京都への来訪者の多い東京での PR 強化のため京都市東京事務所、京都館（東京・八重洲）、江東区文化コミュニティ財団との連携、京福電鉄(株)事業推進部、JR 東海京都・奈良・近江文化情報事務局、京都市観光協会（京都駅観光総合案内所を含む）、京都新聞社、NHK 京都との連携、情報提供を強化する。既存メディアだけでなくインターネット・メディア Facebook、Twitter 等の活用、継続的情報発信によりメディア・ミックスによる情報拡散を図る。大学講義演習関係 75,000 円、文化財マネージャー育成講座 20,000 円、関係映像制作協力関係 100,000 円の入場料を見込む。なお、これらは経費の発生はない。

6) 木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施する。

7) 2016年3月は、本年に引き続き「桃の節句」の時期の公開・展示を行う。入場料 504,000 円、人件費（10日×5人、4日×3人（門田2名無料）×5,500 円＝）341,000 円、印刷代 30,000 円、雑費・通信費 20,000 円で収益 143,500 円を見込んでいる。

8) 随時公開については、グループ、団体等との時間調整の上実施する。20,000 円の入場料を見込む。

収益事業等

洋画家茨木捷彰氏の主宰する美術教室茨木絵画教室に画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする書道教室（講師：大脇双琳氏）、及び整美体操



教室、(講師：井上敦子氏)に旧画室を教室として、主体展会員浜哲郎氏に和館の一部を制作室として提供する。

その他の事業として学校法人ヴィアトール学園との連携による教育支援活動を行う。

併せて、浜哲郎氏に提供している和館の一部の制作室の活用を検討する。

平成27年度収支予算書(損益ベース内訳表)(案)

資料2-1

科目	公益事業会計				収益事業等会計			法人会計		合計
	公1		公1 共通	小計	収1 スペースの賃賃 独目 絵画、体操、書道教室など	他1 教育支援活動 (ボランティア学園)	小計	法人会計		
	事業1 独目 公開	事業2 独目 建築物修理							事業3 独目 収蔵物調査整理	
科目										
1.一般正味財産増減の部										
1.経常増減の部										
(1)経常収益										
①基本財産運用益					0			778,000	35,000	813,000
②特定資産運用益					0			0		0
③事業収益	699,000				699,000			0		699,000
公開等事業										
建築物補修費					0			0		0
収蔵品調査整理					0			0		0
④寄附金収益					960,000			0		960,000
⑤雑収益					0			0		0
経常収益計	699,000	0	0	960,000	1,659,000	778,000	0	778,000	35,000	2,472,000
(2)経常費用										
事業費										
給料手当	341,000		0	768,000	768,000	96,000	7,370	103,370		871,370
臨時雇賃金								0		341,000
退職給付費用					0			0		0
福利厚生費					0			0		0
修繕費		300,000	0		300,000			0		300,000
旅費交通費					50,000			0		50,000
通信運搬費	30,000		20,000		85,000	21,000	1,000	22,000		107,000
消耗品費	10,000				30,000			0		30,000
印刷製本費	50,000				50,000			0		50,000
租税公課					0	70,000		70,000		70,000
支払負担金	30,000				39,000			0		39,000
支払助成金					0			0		0
委託費	90,000		90,000		276,000	90,000		90,000		366,000
外注費					0			0		0
減価償却費					7,475	21,589		21,589		29,064
雑費	10,000	10,000	10,000		35,000	18,000	0	18,000		53,000
管理費										
役員報酬					0			0		0
給料手当					0			0	88,630	88,630
臨時雇賃金					0			0		0
福利厚生費					0			0		0
会議費					0			0		0
旅費交通費					0			0	40,000	40,000
通信運搬費					0			0	150,000	150,000
消耗品費					0			0	1,800	1,800
					0			0	20,000	20,000

科目	公益事業会計					収益事業等会計				法人会計		合計
	公1			公1 共通	小計	収1			小計			
	事業1 独自 公開	事業2 独自 建築物修理	事業3 独自 収蔵物調査整理			スペースの賃貸 独自		他1 教育支援活動 (ヴァイオートル学園)				
						絵画、体操、書道教室など						
印刷製本費					0				0		0	0
光熱水料費					0				0		0	0
賃借料					0				0		0	0
諸謝金					0				0		0	0
支払負担金					0				0		0	0
委託費					0				0	80,000	80,000	80,000
雑費					0				0	128,000	128,000	128,000
経常費用計	561,000	400,000	120,000	900,475	1,981,475	316,589	8,370		324,959	508,430	2,814,864	2,814,864
評価損益等調整前当期経常増減	138,000	▲ 400,000	▲ 120,000	59,525	▲ 322,475	461,411	▲ 8,370		453,041	▲ 473,430	▲ 342,864	▲ 342,864
評価損益等計					0				0			0
2. 経常外増減の部												0
(1) 経常外収益					0				0			0
経常外収益計					0				0			0
(2) 経常外費用					0				0			0
経常外費用計					0				0			0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0			0			0
他会計振替額				230,706	230,706	▲ 230,706			▲ 230,706			0
当期一般正味財産増減額	138,000	▲ 400,000	▲ 120,000	290,231	▲ 91,770	230,706	▲ 8,370		222,336	▲ 473,430	▲ 342,864	▲ 342,864
一般正味財産期首残高				945,377,917	945,377,917	27,210,086	238,214,307		265,424,393	▲ 1,439,979	1,209,362,331	1,209,362,331
一般正味財産期末残高	138,000	▲ 400,000	▲ 120,000	945,668,148	945,286,148	27,440,792	238,205,937		265,646,729	▲ 1,913,409	1,209,019,467	1,209,019,467
II. 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産期首残高				350,000	350,000				0			350,000
当期指定正味財産期末残高				350,000	350,000				0			350,000
III. 正味財産期末残高	138,000	▲ 400,000	▲ 120,000	946,018,148	945,636,148	27,440,792	238,205,937		265,646,729	▲ 1,913,409	1,209,369,467	1,209,369,467

平成27年度収支予算書(案)

資料2-2

科目	公益事業会計 公1	収益事業等会計 収1 他1	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	0	778,000	35,000	813,000
② 特定資産運用益	0	0	0	0
③ 事業収益	0	0	0	0
公開事業	699,000	0	0	699,000
建造物補修復旧	0	0	0	0
収蔵品調査整理	0	0	0	0
④ 寄附金収益	960,000	0	0	960,000
⑤ 雑収益	0	0	0	0
経常収益計	1,659,000	778,000	35,000	2,472,000
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	768,000	103,370	0	871,370
臨時雇賃金	341,000	0	0	341,000
退職給付費用	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
修繕費	300,000	0	0	300,000
旅費交通費	50,000	0	0	50,000
通信運搬費	85,000	22,000	0	107,000
消耗品費	30,000	0	0	30,000
印刷製本費	50,000	0	0	50,000
租税公課	0	70,000	0	70,000
支払負担金	39,000	0	0	39,000
支払助成金	0	0	0	0
委託費	276,000	90,000	0	366,000
外注費	0	0	0	0
減価償却費	7,475	21,589	0	29,064
雑費	35,000	18,000	0	53,000
管理費		0		0
役員報酬	0	0	0	0
給料手当	0	0	88,630	88,630
臨時雇賃金	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0
会議費	0	0	40,000	40,000
旅費交通費	0	0	150,000	150,000
通信運搬費	0	0	1,800	1,800
消耗品費	0	0	20,000	20,000
印刷製本費	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0
委託費	0	0	80,000	80,000
雑費	0	0	128,000	128,000
経常費用計	1,981,475	324,959	508,430	2,814,864
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 322,475	453,041	▲ 473,430	▲ 342,864
評価損益等計	0	0	0	0
2. 経常外増減の部	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	230,706	▲ 230,706	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 91,770	222,336	▲ 473,430	▲ 342,864
一般正味財産期首残高	945,377,917	265,424,393	▲ 1,439,979	1,209,362,331
一般正味財産期末残高	945,286,148	265,646,729	▲ 1,913,409	1,209,019,467
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産期首残高	350,000	0	0	350,000
当期指定正味財産期末残高	350,000	0	0	350,000
III. 正味財産期末残高	945,636,148	265,646,729	▲ 1,913,409	1,209,369,467

公益財団法人 櫻谷文庫
平成28年3月期 予想貸借対照表

予想貸借対照表の作成方法は下記の通りです。

1 右記の②欄に H27年度予算どおりに執行された時の資産の増減を記入

- ・設備造作及び什器備品…△予算 減価償却費
- ・現金預金…[予算経常収益]-[予算 経常費用-減価償却費]
- ・一般正味財産…予算 当期一般正味財産増減額
- ・その他資産、負債の異動の予定があれば各欄に記入

2 28.3月31日現在予想貸借対照表の 各欄を計算

③=①+②

各会計ごとの貸借対照表(貸借対照表内訳書)を作成するためには
期首の残高を 会計ごと(公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計)に
区分する必要があります。

(単位:円)

科 目	2015/3/31 ①	H27年度予算 ②	28.3月予想 ③
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	891,029	-313,800	577,229
流動資産合計	891,029	-313,800	577,229
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	1,126,947,300	0	1,126,947,300
建物	2,525,400	0	2,525,400
所蔵美術品	50,000,000	0	50,000,000
定期預金	23,640,000	0	23,640,000
基本財産合計	1,203,112,700	0	1,203,112,700
(2) その他固定資産			
設備造作	84,249	-24,157	60,092
什器備品	276	-3	273
その他固定資産合計	84,525	-24,160	60,365
固定資産合計	1,203,197,225	-24,160	1,203,173,065
資産合計	1,204,088,254	-337,960	1,203,750,294
II 負債の部			
1. 流動負債			
部門勘定	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	350,000	0	350,000
指定正味財産合計	350,000	0	350,000
(うち基本財産へ充当額	350,000	0	0
2. 一般正味財産	1,209,362,331	-337,960	1,209,024,371
正味財産合計	1,209,712,331	-337,960	1,209,374,371
負債及び正味財産合計	1,209,712,331	-337,960	1,209,374,371

公益法人の財務に関する認定基準について 期末適否判定(H27.4.1-28.3.31)

1.収支相償

第一段階

基準

適合不適合の判定

	①経常収益計	②経常費用計	①－②
公益目的会計	1,659,000	1,981,475	-322,475

<0

適合

第二段階

収益事業から生じた利益の繰入額	0	(収益<費用)
共益事業から生じた利益の繰入額	0	(収益<費用)
収入-費用	-322,475	

<0

適合

2.公益目的事業比率

公益実施費用額 公益目的事業に係る事業費(A)	1,981,475
収益等実施費用額 収益事業等に係る事業費(B)	324,959
管理運営費用額 管理費の額(C)	508,430
(A)+(B)+(C)	2,814,864
公益の目的事業比率	70.39%

>50%

適合

3.遊休財産額保有限限

資産の部	負債の部
流動資産計 1,512,949	負債計 0
控除対象財産 1,209,612,700	正味財産の部
その他の固定資産 60,365	指定正味財産 350,000
固定資産計 1,209,673,065	一般正味財産 1,209,019,467
	正味財産計 1,209,369,467
資産の部 1,211,186,014	負債等 1,209,369,467

遊休財産の保有上限

公益目的事業に係る事業費(A)		1,981,475
資産の額	P	1,211,186,014
控除対象財産	I	1,209,612,700
遊休財産	U(=P-I)	1,573,314

<(A)

適合